

# か る た で し も つ け 再 発 見

『下野市ふるさとかるた』

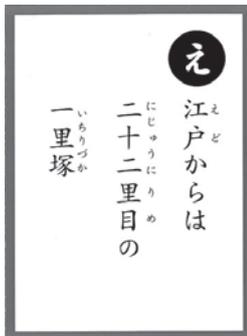
今月は「元」です

小金井一里塚は、江戸時代五街道の一つでもある日光街道沿いに造られ、江戸日本橋から22里目（約90km）の地点にあります。

市内では、もう1か所23里目にあたる下石橋一里塚跡も近年の調査で確認されています。

この二つの塚の間を通っている道が江戸時代の五街道の一つ、日光街道です。江戸幕府が五街道の整備に着手したのは慶長9年（1604年）で、栃木県令三島通庸が今の国道4号を作ったのが明治17年（1884年）です。

この日光街道は約280年もの間、東北地方への主要道路として使われています。一里塚は、江戸の日本橋を基点



え 江戸からは  
二十二里目の  
一里塚



え

として1里（約3・92七キロメートル）ごとに築かれました。

小金井一里塚はその22番目の塚で、江戸から22里（約86・4キロメートル）の地点であることを示しています（実際の距離は90キロメートル以上あります）。塚は、5間（約9・1メートル）四方の四角形に築かれ、榎が植えられていましたが、今ではすっかり変形して丸塚となり、何代目かの榎と、いつの時代に生えたのか、櫟の巨木が同居しています。

一里塚は、荷物や人を運ぶ賃金の標準となり、旅人にとっては道のりの目安になって、大変便利でした。また、現代の私たちにとっては町のシンボルであり、過去と未来を結ぶ文化財です。大切に保存しましょう。

## DVホットライン 「周囲の援助が必要」

DVを受けている人はなぜ逃げないのか。別れようと決心すれば、すぐ別れられるはずだ。周りの人はそう思いがちです。しかし、DVから逃げられないことの背景には様々な問題があるのです。

暴力をふるわれている被害者は、「もつと暴力がひどくなるのではないか」という恐怖感や、「自分が悪いから暴力を振るわれる」と、自信を失っていることも多く、また、経済的な不安を抱えている方もいます。そうすると、逃げる気力や誰かに相談する気力を持ってなくなります。

DVから逃げるためには、周りの援助が必要なきががあります。

夫やパートナーなど親密な間柄で行われる暴力をDVといえます。相談してください。

下野市DVホットライン  
☎(52)11600

相談日及び時間

月～金曜日

（土日祝日・年末年始を除く）

午前9時～午後5時

（正午～午後1時を除く）

問い合わせ先

児童福祉課 ☎(52)11114

## 男女共同 参画社会

農業分野で活躍する  
女性農業者

我が国の農業就業人口のうち半数（51・7％）を女性が占め、重要な役割を果たしています。地域資源をいかした加工品づくりや直売所等での販売、農業体験受入れやレストランの経営等、女性の感性をいかした事業が各地で展開されています。

女性が経営に参画することは、農産物の生産だけにとどまらず、農産物加工、観光農園、農家民宿など、経営の多角化にプラスの効果を及ぼすほか、売上げの増加にも繋がります。平成23年にオープンした道の駅しもつけにおいても、6次産業化に取り組む女性の団体が出店し活躍しています。

販路が拡大されたことで、従事者の士気が高まり、新たな参加者も増えるなど好循環をもたらしているようです。

問い合わせ先

総合政策課 ☎(40)5550

まずは相談

現金書留同封!? 脅迫!?  
健康食品送り付けの  
新手口

注文した覚えがないのに「注文されている」などと言われて健康食品を送りつけられるトラブルの中で、商品と一緒に現金書留封筒が送られ、その後電話などで脅すような口調で支払いを迫られた、という相談が寄せられています。断ったにもかかわらず一方的に商品を送りつけられても、安易に受け取らないようにしましょう。もし受け取ってしまったら、決してお金を支払ってはいけません。困ったときは、消費生活センターにご相談ください。

下野市消費生活センター  
専用ダイヤル ☎(44)48803  
国分寺庁舎2階

生活安全課内

相談日時 月～金曜日

（土日祝日・年末年始を除く）

午前9時～午後5時

（正午～午後1時を除く）

土曜日の電話相談は栃木県消費生活センターへ

☎028(625)2227